福井メディックス

（参考様式１）

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「住み慣れた地域で安心かつ笑顔と元気のある生活への‥地域社会に貢献します」という理念を掲示し、毎日、職員唱和し、その実現に向けた取り組みを行っている			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	町内会に入り、回覧板や地域の美化運動などに参加している。地域交流の一環として、小学校・保育園の子供たちと定期交流を実施。認知症啓発活動にも積極的に参加している	開設時には内覧会にて地域の方々に施設を知ってもらった。地域交流として児童館・小学生・幼稚園の来訪などは良い機会だったと思う。認知症啓発に関しても様々な取り組みをこれからも継続できると良い		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月別利用状況や活動状況、ヒヤリ介護事故の報告を行い、利用者様家族や参加された地域住民からの意見を取り入れ、サービスの向上・運営に生かしている	定期的に開催され、情報共有や意見交換が出来る貴重な時間になっている		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	サービスを提供するうえで理解が難しい事等は積極的に行政（介護保険課）や地域包括に相談し助言・アドバイスを頂き円滑な運営にいかしている	研修や講演会などに参加する等、日頃から市や包括との連携に努めている		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月１回の委員会や研修会、勉強会にて身体拘束の必要性や意味を理解し、現状の確認や意識の共有をして、抑制のないケアに取り組んでいる。また、「不適切なケア」についても学び抑制や威圧しないケアを実施している		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束の委員会や研修の開催が出来ている何が身体拘束に該当するのか、不適切なケアとはどういうものかを認識することも大事である。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	委員会や研修会・勉強会に参加し虐待防止を啓発している。また日々の業務のなかでも職員間で意見交換を行いながら、業務を振り返り、虐待行為を予防している		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の業務の中での気づきやふりかえり、意見交換を行いながら、虐待の防止に努めることが出来ている 。今後、必要時は見守りカメラを使用することも一案である。

福井メディックス

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内研修にて定期的に研修を行い、制度について学習し知識を深めている			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時は、パンフレットや重要事項説明書等にて契約者様が理解しやすい説明を行い、疑問や質問に対しても丁寧に説明を行うなどをして理解・納得を得るようにしている			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に担当者会議（入所後、半年後、更新時など）を行っている。また普段から家族様とコミュニケーションを図り、問い合わせや意見などにも対応している（面会、電話、メール等）		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族との関わりが出来ている。 面会や外出外泊の制限がなく自由である 本人・家族・地域の方々の意見を尊重し、運営に反映していると思われる。現在ラインワークスも活用との事だが、さらに家族会、意見箱などもあるとよい
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のミーティングや定例会等を開催し、職員の意見や提案を積極的に取り入れ業務に反映している。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年２回の個人面談を行い、個人目標達成状況の確認、意見交換を行っている。また、法人主催で労働条件説明会を実施し職員の意見を聞き反映できる事は反映していく仕組みがある		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	見学の際の職員の対応などから、職員が働きやすい職場環境と見うける。労働に関する様々な取り組みができている
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内外での研修や動画研修、他事業所での実習等、各自の立場や経験に応じた学びの機会を確保している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	当施設だけでなく会社全体としてきちんと研修体制が出来ている 学びは日々の中にも多くあり、各々が知識や技術、経験の向上を目指すことを続けてほしい
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	他法人のグループホームとも定期的に情報交換を行い、ネットワーク作りを構築している。交流を通じて得た知識を積極的に取り入れサービス向上に役立てている			

福井メディックス

14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様の「できる」を尊重し、日々の日常生活の中での調理や掃除・洗濯等の日常生活動作を利用者様、職員で一緒に行いながら関係作りを行なっている			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染対策を行い面会実施している。外出・外泊等家族と共に行っている。施設内でも、定期的な外出や選挙への同行、地域まつりへの参加など支援に努めている	運営推進会議での報告からは、本人や家族の想いを聞き取り、交流や外出が活発に行われていると感じる		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様に「今日は何をする？」と思いや意向を聞き取りながら活動につなげている。個々での「やりたい」を尊重し支援につなげている			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の生活での気づきやチームでの申し送りを大切にしている。定期的なアセスメントや毎月のモニタリングを実施し、本人、家族の意向もふまえた計画を作成している。主治医の意見や状況変化に随時計画の見直しをおこなっている。	家族や職員、関係者を含め、皆が意見を出しながら、本人の状態や思いに沿ったプラン作成が出来ていると感じる。	A 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に担当者会議を行うことで、本人や家族の想いを聞きとることでが出来ている 職員に共有し、ミーティングを行うことで、より良いケアにつなげることが出来ている
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人と一緒に過ごす中で見えてきた事、気づき、言動や想い、変化を毎日記録し、職員間の情報共有やケアに活かしている		A 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	朝夕に１階２階合同の申し送りが出来ている。日々の状況の変化を記録に残し、職員間での情報共有を通し、実践することが出来ている
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療連携体制を活かし利用者様や家族にとって負担となる受診を往診に切り替えたり、薬局の薬配達を依頼することが出来る。医療保険が該当する場合の訪問リハビリなども施行している。散髪など整容や買い物支援もしている。	安心した慣れた環境で生活が続けられるよう、柔軟に対応していると感じる。本人にとっても安心感があると感じる		

福井メディックス

20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の理容室や訪問診療、訪問看護、消防訓練など地域資源の協力を得ながら安全で豊かな暮らしの継続を支援している	地域資源を活用し、支援を行っていると感じる。 これからも協力体制が継続できるとよい。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様、家族の意向にあわせかかりつけ医に家族同行で受診している。受診が困難な利用者様は訪問診療や訪問歯科診療による受診にて対応している。必要に応じ書面や電話等にてかかりつけ医に情報提供を行っている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃から主治医と連携をとっており、入院された際には病院に情報提供し退院前には、ご本人様・ご家族・病院関係者・計画作成者で退院前カンファレンスを行いスムーズな利用再開に努め、早期退院の柔軟な支援を行っている		(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療との連携を図るべく、入院時の情報提供や入院中の経過確認、退院前のカンファレンスへの参加が出来ている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所の時点での「重度化した場合や終末期のあり方」を書面にて意向確認している。状況が変化した場合には再度確認する旨を伝えている。その場合には、かかりつけ医や本人・家族の想いに傾聴し、事業所でできることを説明の上、方針を共有していく		(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時などに、本人・家族に終末期の考えや要望の聞き取りを行っている。 状態に変化があった場合には、意見や要望の再確認を行うことになっている。対応は柔軟だと思う
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変時や事故発生時のマニュアルを作成し、対応についての勉強会を行っている。法人内にて救急救命訓練を定期的に開催し、全職員が参加し事故発生の備えを行なっている			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年２回の消防訓練を実施している。消防職員から避難誘導や初期消火について助言・アドバイスをいただき備えを行っている。また、災害（地震・水害）訓練も年１回実施し、近隣の避難所への避難訓練も合わせて実施している	防災に向けた意識も高く、訓練なども十分にされていると思う ただ泊りの施設という事もあり、夜間帯の対応や地域との連携などの必要性もある	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	８月末の福井の大雨の際には、念のための２階への垂直避難を実施している 一方、施設の課題を再確認し、夜間帯の対応などの困難さは把握すべきである 地域との連携を図る上でも自治体との協力体制作りも必要だと思う

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人にて接遇委員会による定期研修に全職員参加し利用者様への声掛けや対応のふりかえりを行なっている。また、羞恥心やプライドには十分配慮し利用者様の希望があれば同性介助を行なっている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	接遇委員会は「気くばり向上チーム」に名称変更したという これからも互いに尊重することが大事である
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日ご利用者様一人ひとりに「何をしたいか」を一緒に考え、個々のペースに合わせて支援をしている			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節に応じた食事メニューの提供や定期的に食べたいものアンケートを行っている 利用者様とともにおかず作りや盛り付けを一緒に行っている。片付けにもみんな意欲的に取り組まれている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事に関しても、入居者の要望にあわせた提供が行えている 実際の食事やアルバムなどの写真から、食事を楽しみにしている様子が見られる
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理栄養士に監修された栄養バランスの取れた食事提供を行っている。それに基づいたメニュー表がある 食事の摂取量や水分摂取量を記録し、必要に応じて主治医や訪問看護と情報共有し連携を図っている			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後の口腔ケアの声掛けを行ない、不十分な所は介助し口腔内の清潔保持に努めている。必要に応じて歯科受診や訪問歯科診療を促し口腔内の状況改善を図れるよう支援している		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	歯科往診や指導など、課題を抱える方への個別での専門的な支援が行えている
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	トイレでの排泄が継続していけるよう、個々の排泄パターンを理解し、タイミングをみてトイレ誘導を行っている。場所の認識が出来ない方への誘導も行っている。便秘に関しては、食事・水分摂取・適切な運動・トイレへの着座促し・医師への相談などを行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	トイレ動作や習慣は大事である これからも気持ち良くすごせるよう適切な排泄面への援助を続けなければならない

福井メディックス

福井メディックス

				族様と電話が出来るよう支援をしている　出来る方に限られるが手紙のやり取りをする方もいる			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅で使用していた、なじみの家具や飾り、写真などを持ち込んだりして少しでもその人にあった生活環境になるようにしている。廊下やリビング、玄関等の共有スペースには季節に応じた花や作成物を展示し季節感が感じられる様配慮している。また、各所にソファを配置しゆったりと過ごせる空間を作っている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	開設して間もなく新しい　居心地の良い生活空間であるよう努めている　掃除など環境整備と、ゆったり過ごせる工夫や、季節感などの演出も出来ている 各居室の名前に関しては配慮が必要と思われる（大きな垂れ幕→必要な方のみ、名前の代替えに色や花・動物など）
Ⅳ. 本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の発言に対するケア改善は、日々のミーティングで検討される。また声だけではなく、表情や行動から推測し職員だけではなく本人様と一緒に考えて決まる事に留意している			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前の自宅での生活が継続できるよう支援し、家族など周囲から聞き取りを実施しながら本人様らしい生活につなげている			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族・主治医・訪問看護などと細やかな状態変化を共有している。本人様と関係者全員で協議し、日々の状況に沿った支援になるよう迅速な対応を行なっている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族や主治医、訪問看護などと連携を図り、職員間で共有や話し合いにて援助されている 受診は家族支援であるため、施設での健康状態を記録したものを渡し、戻った際には受診シートを記入している　要点が大事である
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人様やご家族より今までの生活習慣を聞き取り、普段の生活に取り入れている日常の関わりの中で利用者様の声を大切にし一人ひとりにあったケアを行っていく			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の写真やアルバム、使い慣れた家具や好きな本・テレビ等個々の要望に合わせて持ち込みができている　しかし自宅ほどには十分でない		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室には馴染みの物を置き、生活感のある環境がある　写真は必須で家族にお願いしている点はよいと思われる

福井メディックス

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	皆に「どこに行きたいか？何をしたいか？」アンケートにより外出企画や季節行事を行う事ができている。しかし、想いを表出できない方もいる。	本人のやりたいことを聞き出す姿勢が良い　また思いを表出出来ない方への配慮も感じられる		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人様の持つ力や主体性を引き出せるよう聞き取りを行い、職員が支援できる体制を構築している			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の生活歴や好きな事をアセスメントし、その上で活動に参加する等、希望に沿った行動ができるよう一緒に話し合っている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	見学の際の入居者様の様子やアルバム写真での活動の様子などから日々の暮らしがわかる十分に出来ていると思われる
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近所の散歩や児童館訪問、地域の祭りなどで交流の機会を設けた。かけがえのない時間となり、良い表情で過ごすことが出来ていた。	認知症がありながらも、様々な機会において人々との関わりを持つことは大事である　その関わりがスムーズにいくように工夫がなされている		
49	総合	本人は、このGHにいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「いつも楽しい」「安心して暮らせる」「ありがとうございます」などの感謝の言葉をいただくことが多い。一方、やはり「自宅へ帰りたい」という想いは多くの皆さんの中にある。なじみの関係を構築し、本人主体の笑顔の日々を過ごせるようこれからも支援していきたい	開設して間がないが、様々な配慮がなされ、居心地の良さを感じる　「その人らしさ」「笑顔で穏やかに」を支援するには様々な苦労があると思うが、これからも頑張ってほしい	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「いつも楽しい」は職員にとって一番ありがたい言葉だと思う　隣接のデイサービスとの合同行事なども充実しているので、今後も様々な工夫でよりよい生活を支援していくことを願っている s